



著者プロフィール

黒澤麻生子（くろさわ・まきこ）

昭和 47 年 千葉県生まれ
平成 9 年 プランタン句会に参加
平成 11 年 「未来図」入会
平成 16 年 「未来図」新人賞
平成 17 年 「未来図」同人
平成 20 年 俳人協会会員
平成 21 年 「秋麗」創刊に参加
平成 25 年 「秋麗」同人

〈句集『金魚玉』より転載〉〈2017年8月3日時点〉

『金魚玉』（自選15句）

黒澤麻生子

髪結うて目のつり上がる針供養
あたたかや同じ話を聴きにゆく
遥かなる宙に船長おぼろ月
まだ固き教科書めくる桜かな
五指しかと開きて粃を蒔きにけり
考ふること休めよと青葉木菟
金魚玉むかしのことは生き生きと
青年になりかけてゐる日焼かな
秋風や家族のやうな鍋捨てて
赤ん坊は水のかたまり十三夜
曼珠沙華淋しきときは煮炊きして
竹馬に乗りて日なたに出でてみよ
冬ばたん死後も耳たぶやはらかく
マフラーの毛玉よ過ぎてゆく日々よ
風を読むラガーの耳の尖りけり